

# 議会だより



第152号

平成30年1月25日



## おめでとう新成人

<b>新しくなる農業委員会</b>	<b>補正予算・条例制定</b>	<b>2～3</b>
<b>町長選挙への出馬は</b>	<b>一般質問</b>	<b>4～7</b>
<b>日高中学校視察</b>	<b>委員会活動</b>	<b>8</b>

# 12月定例会

平成29年第4回定例会は12月12日から19日までの8日間の会期で開催した。今回の定例会には議案12件、報告1件、同意1件が提案され、慎重審議の結果、原案のとおり同意・可決した。また、「道路整備事業に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書の提出について」の発議があり、全員一致で可決した。

## 一般会計補正予算

既定の予算額に4838万8千円を追加し、  
総額44億3365万5千円とする。

### — 主な内容 —

産湯海水浴場周辺整備工事請負費54万8千円の減額や、小規模土地改良事業費100万円、災害緊急砂防事業負担金74万円、農地災害復旧費1246万4千円、農業用施設災害復旧費1330万5千円、道路橋梁災害復旧費151万8千円、河川災害復旧費1236万3千円、人事院勧告及び人事評価等による人件費435万3千円等の増額。



萩原地区の被災した河川

**問** 災害復旧費の対象場所の説明を。  
**産業建設課長** 農地災害は、原谷3件、萩原1件、池田2件、下志賀1件、久志1件、上志賀1件、小中1件の計10件。農業用施設は、原谷1件、池田2件、小中2件、久志2件、方杭1件の計8件。公共土木災害は、道路が原谷、河川が萩原と池田で、各1件ずつ。



被災したパイプハウス

**問** 産湯海水浴場周辺整備工事請負費の費用負担について詳細説明を。  
**産業建設課長** 観光施設整備補助金を活用して実施したが、申し込み多数のため、50%以内となっていた県費補助率が結果的に18・5%となった。全体事業費は493万1647円で、県費が91万3千円、町が401万8647円となった。

**問** 野菜花き産地強化事業補助金の詳細説明を。  
**産業建設課長** 10月22日の台風21号により被災したパイプハウスを、台風風に耐えるよう補強するための補助金で、事業費の3分の1を町が補助するものである。

# 条例制定

**日高町農業委員会  
の委員及び日高町  
農地利用最適化推  
進委員の定数に関  
する条例**

法改正に伴い、農業委員会委員の選出方法が公選制から市町村長の選任制に変更され、農地利用最適化推進委員が新設されたため、日高町におけるそれぞれの委員の定数を定めるもの。

**問** 定数はどうなるのか。  
**産業建設課長** 現在、選挙による委員が11名、各種団体等から7名、合計18名である。法改正により、町長の選任による農業委員が12名、農業委員会からの委嘱による農地利用最適化推進委員が6名、合計18名となる。

**問** それぞれの委員の役割は。

**産業建設課長** 推進委員

は、農業委員会において農業経営の規模拡大・農地の集積について意見を述べる。どちらも農業経営の規模拡大、農地の集団化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進等である。

**問** それぞれの任期は何か。  
**産業建設課長** どちらも

任期は3年である。

**問** 新制度の説明資料の中に「年齢性別に著しい偏りがなくように」となっているが、どうなるのか。  
**産業建設課長** 原則として、農業委員の半数以上が認定農業者、非農業者1名。女性や青年を積極的に選任するようになっている。

は、農業委員会において農業経営の規模拡大・農地の集積について意見を述べる。どちらも農業経営の規模拡大、農地の集団化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進等である。



対策が望まれる耕作放棄地

## 意見書

道路は住民生活のために欠かせないものである。現在、交付金事業の補助率が55%に高上げされており、高家中央線整備事業等に活用している。この補助率が低減されれば、財政の圧迫や事業の進捗が遅れることとなる。よって、次の意見書を国に提出する。

### 道路整備事業に係る補助率等の

### 高上げ措置の継続を求める意見書

道路は、住民生活の安全安心な暮らしや地域経済の活性化を支えるとともに、災害時には、住民の命を守るライフラインとして機能するなど、生活に欠くことの出来ない重要な社会資本の一つです。

現在、道路事業においては「道路整備事業に係る財政上の特別措置に関する法律」(以下「道路財特法」)の規定により、地域高規格道路や交付金事業の補助率等が高上げ(50%を55%等に高上げ)されており、この高上げ規定が平成29年度までの時限措置となっています。

本町においても地方創生に全力を挙げて取り組んでいる中、補助率等が低減することは財政を圧迫し、道路事業費が大幅に減少し、道路整備が遅れて地域活力の低下を招くことが危惧されます。

よって、国におかれては、道路整備事業に必要な予算確保にあわせて、道路財特法の規定による補助率等の高上げを平成30年度以降も継続するとともに、さらなる拡充の措置を講じることを強く要望します。

平成29年12月19日

和歌山県日高郡日高町議会



榮 茂美 議員

# ふるさと納税返礼品の充実を 町長 参加協力を呼びかける

**榮** 日高町への寄付件数寄付額が毎年低調である。平成27年度119万円が今までの最高寄付金額で、昨年度99万円と減少した。今年度の納付状況は。

**町長** 11月末時点の集計で、20件177万円である。その内訳は、町への直接申込みが7件163万円、インターネット通販会社、楽天を通じて13件14万円である。

**榮** 今年度からインターネット通販会社へ業務委託したが、成果が出ていない。問題はどこか。  
**町長** 出店している品物が少ないことである。

**榮** 楽天ふるさと納税サイトにアクセスし、気に入った商品を選ぶのに3種類しかない。梅干しの詰め合わせ、干物の詰め

合わせ、キヌヒカリの米だけである。町内で製造生産、販売している商品は多くあるはずだが、どうして返礼品の商品を多く出せないのか。

**総務政策課長** 参加事業者について広く周知を図っているが、今後、参加して貰えるよう取り組み。

**榮** 総務省から「ふるさと納税の使途については目的等を明確に」との通知がある。町で以前行っていたクエマラソンやクエ祭りの復活に寄付金を活用し、ふるさと納税者を復活イベントに招待すればどうか。

**町長** クエマラソン復活への活用は、各種団体の意見も聞いて検討したいが、クエ祭りは阿尾区の神事なので、私からの答弁は控えたい。



ネット上、3種類しかない日高町返礼品

## シティプロモーション事業の実績を

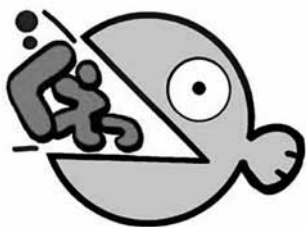
**榮** シティプロモーション・海外観光誘致事業は、3年間は国費の対象なので、後2年それぞれ1300万円事業を継続すれば、合計4510万円の大型観光関連事業である。実績は出せるのか。

**町長** 評価指数の数値目標は、観光客入り込み総数で平成27年度24万2800人を31年度25万人に、また海外観光客数を0人から150人に設定し、年度ごとに評価検証を行うので、目標を達成できるよう取り組む。

**榮** 松本町長は、計8名が3泊4日でベトナム訪問をしたが、その目的と内容は何か。  
**町長** トップセールスや人脈づくりを目的として、日高町を広くアピールしてきた。

**榮** 今回の事業では、クエで売り込もうとしているが、日高町がクエの町と言える背景はどこにあるのか。  
**町長** 当町では昭和40年代より天然クエにこだわって、40年以上もクエ料理を提供してきた歴史がある。

**榮** 天然クエは高価であり、個体数も限られている。しかも町内で食べられる民宿、旅館は9軒しかない。クエ料理だけでなく、日高町のクエの歴史、文化、交流にも力を入れるべきだ。





井垣 弥 議員

# 次期町長選挙への出馬は

## 町長 30の場において正式に出馬表明する



議会で出馬表明する松本町長

**井垣** 1期目の松本町政は、18歳までの子ども医療費無料化の拡大、内原・志賀の学童保育所の設置、子育て支援センター・クエッコランドの一層の充実等、子育て支援に力を注がれてきた。教育に

ついても、学校支援員を配置し、発達障害等を持つ児童・生徒への学習支援を行うなど、一層の充実を図ってきた。また現在、日高中学校の大規模改修に取組んでいるところであるが、限られた財

源の中で、これまで子どもからお年寄りに至るまで、福祉の充実に努められたことは一定の評価をするところである。防災・地方創生・道路改良など取組んでいるが、未だ道半ばと捉えている。

ここで、来年5月10日で任期満了となり、残す任期も半年をきった今、改めて松本町長の出馬の意思についての気持ちを伺いたい。

**町長** 一定の評価をいただき、恐縮に思っている。これまで和歌山県商工政治連盟日高町支部・日高町建設業組合・日高町旅館民宿組合・比井崎漁業協同組合・紀州農業協同組合、5団体から次期町長選の候補者としての推薦をいただき、身が引き締まる思いである。

公約の実現には道半ばだと正直思っているところが大きい。就任から3年半、自問自答しながら、無我夢中で誠実に一杯一杯これまで町民のため町政に取組んできた。安心・安全な町づくり、防災・地方創生・道路改良

など多くの課題を残しており引き続きより一層スピード感を持って取組んでまいりたい。今後も長期総合計画に則って、町民の声を聞きながら、一つずつ町民とともに町づくりを着実に進めていきたい。残る任期もあと半年を切り、目の前にある仕事を全力で取り組む。次期町長選挙に立候補し、町民に信を問う覚悟を固めたところであり、本日、この場において正式に出馬表明をさせていただきます。

**井垣** 大いに期待する。

1番の公約である「子どもからお年寄りまで1日楽しめる防災コミュニティ広場」について諦めたとは思っていない。どう考えているか。

**町長** 町長就任以来、喫緊に迫る諸課題が次々と出てくる中、任期中に適地の選定、補助事業などの目途をつけることに取組んできた。しかしながら、限られた財源の中、日高中学校の大規模改修が予想を大きく超える費



改修が完了した日高中学校

用負担になった。また、小学校統合問題などを優先的に実行していく必要があると判断した。今後見通しが立てば検討していく。

**井垣** 小学校統合問題については教育長・教育委員会主導に感じている。

この問題についても町長のリーダーシップを期待するが意気込みは。

**町長** 学校はもちろん保護者、関係する方々としっかり相談した上でリーダーシップをもって取り組む。

稲垣 崇 議員



# 農業への取り組みを 町長 積極的に取り組む

**稲垣** 町内を回れば、耕作放棄地が年々増えてきているように感じる。

日高町のホームページでは、「農業は、日高町の基幹産業。」と載っているが、耕作放棄地ばかりになれば、基幹産業である農業の将来が危ふまれる。

農業は、日高町の基幹産業で間違いなく。

また、町は基幹産業である農業を守るために、どのような取り組みをしているか。

**町長** 近年、農業を取り巻く環境は、全国的にも担い手の高齢化や後継者不足などの問題を抱えている農家が多く、当町においても議員の指摘のように、高齢者だけで農業を営んでいる農家、また耕作に支障をきたしている農家も多いのではないかと私も感じている。

そういった厳しい状況のなかではあるが、農業は、当町において重要な産業であると考えている。その農業を守るために、平成23年度にはミニライースセンター改修を補助し、

平成25年度には水田農業活性化事業を立ち上げ、またこのほかにも、中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払交付金制度など補助事業を活用し、耕作放棄地の発生防止や費用負担の軽減に努めているところである。

**稲垣** 耕作放棄地の現状はどうか。

**町長** 平成21年度より農業委員会が中心となり耕作放棄地の調査を実施しており、町内で概ね70ヘクタールの耕作放棄地があるものと把握している。

そのような状況のなか、耕作放棄地が増えることにより、隣接の住家や農地に害虫や環境問題が懸念される。



増え続ける耕作放棄地

**稲垣** 農地として利用すべき耕作放棄地はどれだけあるか。

**町長** 平成24年度では、約26ヘクタールあったものが、平成28年度現在で約8ヘクタールである。

**稲垣** 農地として利用できる耕作放棄地が約8ヘクタールということは、農地としての利用が不可能な土地が約62ヘクタールあることになる。62ヘクタールと言えば、日高

中学校の敷地約28個分である。このように耕作放棄地が増えた要因は何であると考えているか。

**町長** 担い手の高齢化や後継者不足などの問題だけではなく、鳥獣害被害による生産意欲の喪失、また農業機械の維持、更新時の費用負担が大きいことなど、様々な要因があるのではないかと考えている。

**稲垣** 近隣の町では、既に農業用機械の購入に対して補助金を出している町もある。また、これから補助金を出そうと考

えている町もある。日高町では基幹産業を守るために補助金を出す考えはないのか。

**町長** 農業は重要な産業であるので、今後担当課だけでなく関係機関と積極的に協議しながら、進めていきたいと考えている。

**稲垣** 最後に、町長もかつては議員との兼業農家で、農家のつらさを十二分に理解されていると思われる。来年度からは、

減反政策が廃止され、需要に応じた米の生産ができるように改革されるなど、農業を取り巻く環境が大きく変わると推定される。

そういった状況の中、農業者のつらさを少しでも解消できるよう、できれば農業者が儲けられるように、地域農産物のブランド化や6次産業化へ向けた取り組みなどを積極的にしていくことを要望する。

近隣の町では、既に農業用機械の購入に対して補助金を出している町もある。また、これから補助金を出そうと考

西岡 佳奈子 議員



# 臨時職員の待遇改善を 町長 必要な時に改善をはかる

**西岡** 臨時職員の現状は、  
**町長** 保育士35名、調理師8名、介護支援専門員3名、学校用務員4名、栄養士1名、学校支援員14名の計65名である。  
フルタイムの保育士に限り一時金を支給している。有給休暇は労働基準法に準じて付与しており、社会保険などの各種保険にも加入している。

**西岡** 必要な人員は正規雇用すべきだと思うが。  
**町長** 定員適正化計画で定数90名で取り組んでおり、臨時職員を正規雇用することは不可能。

**西岡** 正規雇用できないとしても賞与や昇給、退職金など労働条件改善を。  
**町長** 必要な時期に必要な改善を図っていきたい。

**西岡** 勤続年数は、  
**総務政策課長** 5年未満48名、5年以上10年未満12名、10年以上15年未満2名、15年以上3名である。

**西岡** 今年度、フルタイム

ム  
の臨時保育士にボーナスが実現した。一歩前進と考える。その他の臨時職員にもボーナス支給を。  
**町長** フルタイムの臨時保育士は、人材確保の困難さがあつたので、ボーナス支給ということにした。今後、考えてはいきたい。

**西岡** 有給休暇取得率は、  
**総務政策課長** 保育士59%、調理師78%、介護支援専門員97%、学校用務員31%、栄養士39%、学校支援員69%である。  
**西岡** 有給休暇の取得が給与面での一定の補償ともなる。取得の権利につ



臨時職員の待遇改善を

いてきちんと伝えられて  
いるか。  
**総務政策課長** 書面により通知している。  
**西岡** 取りにくい状況があるのであれば、雇う側の改善が必要。権利として活用できるよう対応を。  
**町長** 取得するよう話を

**西岡** 臨時職員には退職金の制度がない。しかし、10年、15年を超えて臨時職員として働いている人がいる。退職金が支給できるような方法を考えていただきたい。  
**町長** 現状ではそういう規定がないので、一度検討したい。

## 住民を守る防波堤に

**西岡** 松本町長が就任され、まもなく4年。  
学校給食費の値上げ、国民健康保険税の2度にわたる大幅値上げ、保育所非正規職員の増加や民間委託方針の表明などは、誤った方針であったと考える。

の暮らしを切り捨ててきている中で、地方自治体は住民の生命と暮らしを守る防波堤の役割を果たさなければならぬ。

私は、町民こそが町の主人公だと思っている。町民と同じ目線に立ち、町民の声に真摯に耳を傾け、町民の願いを実現するための努力をするのが町行政の役割。  
そして、国の政治が様々な口実を用いて、国民

「笑いながら健康に暮らせるまちづくり」に誠心誠意一杯努力していくと述べた。私も町民こそが町の主人公だと思っている。しかし、限られた財源の中で、どの施策を優先していくか判断をしていかねばならず、全ての町民に満足していただくには、いくら予算があっても足りない。

私は、町民こそが町の主人公だと思っている。町民と同じ目線に立ち、町民の声に真摯に耳を傾け、町民の願いを実現するための努力をするのが町行政の役割。  
そして、国の政治が様々な口実を用いて、国民

私は、町民こそが町の主人公だと思っている。町民と同じ目線に立ち、町民の声に真摯に耳を傾け、町民の願いを実現するための努力をするのが町行政の役割。  
そして、国の政治が様々な口実を用いて、国民

# 改修中の日高中学校を視察

## 産業教育常任委員会

去る11月14日に改修中の日高中学校の現場視察を行った。工事の進捗は概ね予定通りで、年内には完成するとの説明を受けた。



### 編集後記

新年明けましておめでとございます。  
町民の皆様におかれましては健やかに新春を迎えられたことお慶び申し上げます。

1月4日の成人式では、若者たちが晴れ晴れと参列され、祝福を受けました。彼らの内の何人が日高町に居てくれるのか、また帰ってきてくれるのか：少子高齢化が危惧される中、一人でも多くの若者が自分の生まれ育った日高町に定住してくれることを望みます。

多くの町民からご意見、ご要望を聞き、それを町行政に届け、彼らが住みたいと思える町にしたいと、広報用の写真を撮りながら心に誓いました。

稲垣 崇